

Age-related changes in muscle thickness, echo intensity and shear modulus of the iliocapsularis

Haruka Sakata¹, Hiroshige Tateuchi¹, Masahide Yagi¹, Kotono Kobayashi¹, Noriaki Ichihashi¹

1. Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University

Clinical Physiology and Functional Imaging (IF=1.8)

PMID:37789639 DOI: 10.1111/cpf.12858

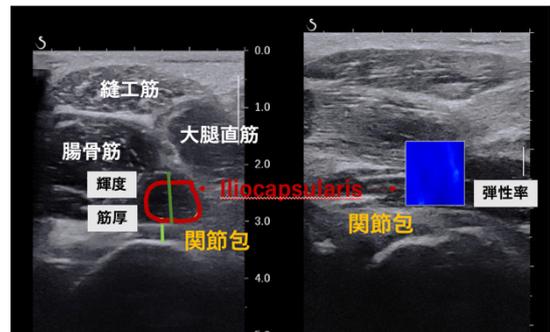
研究の概要：

Iliocapsularis は股関節の前面に位置する深部筋であり、股関節の安定化に寄与するとされています。Iliocapsularis の加齢変化を調べた研究では、筋量に加齢の影響を受けにくいことが報告されています。筋の加齢変化では、筋量だけでなく筋質や機械的特性にも変化が生じると報告されていますが、iliocapsularis の筋質や機械的特性の加齢変化については明らかになっていません。そこで本研究では、iliocapsularis の筋量・筋質・機械的特性における加齢変化を検討しました。

【方法】

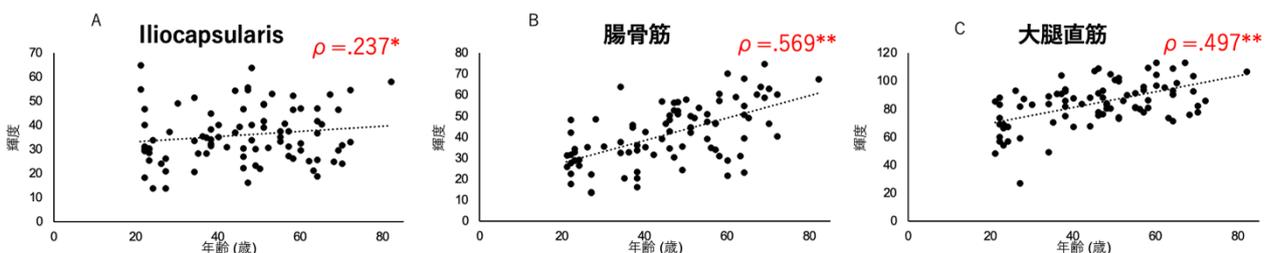
対象：健常女性 87 名（21-82 歳）

方法：iliocapsularis、腸骨筋、大腿直筋の筋量・筋質・機械的特性、関節包の厚さ・機械的特性を超音波診断装置を用いて計測し、年齢との関連を調べました。



【結果】

- ・腸骨筋や大腿直筋は加齢変化を示した一方、iliocapsularis の筋量と機械的特性には加齢に伴う変化はありませんでした。
- ・iliocapsularis の筋質と年齢には弱い相関があり、高齢ほど筋質が低下しました。



【結論】

同じ股関節前面の筋である腸骨筋や大腿直筋には加齢変化が生じた一方で、iliocapsularis は加齢の影響を受けにくいことがわかりました。